

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公表番号】特表2008-526476(P2008-526476A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-549378(P2007-549378)

【国際特許分類】

B 05 D 1/28 (2006.01)

【F I】

B 05 D 1/28

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面上にコーティング流体のパターンを形成する方法であって、

アプリケーターロール表面のトポグラフィーが、コーティング流体のミクロスフィアを少なくとも部分的に受け入れるように寸法設定された長手方向に延びる少なくとも1つの周方向らせん状溝部分と、長手方向に延びる少なくとも1つの周方向平滑表面部分とを含んでなる該アプリケーターロール表面に、該ミクロスフィアを含有する該コーティング流体を導入することと、

前記アプリケーターロール表面にドクターブレードを係合させて、前記アプリケーターロール表面の前記平滑表面部分から前記コーティング流体を除去するとともに、前記アプリケーターロール表面の前記らせん状溝部分により、該ドクターブレードを通過して前進する前記ミクロスフィアの量を制限し、前記ミクロスフィアを含有する前記コーティング流体のパターンを、該パターンが前記らせん状溝部分によって画定され、かつ前記ミクロスフィアを含有する前記コーティング流体の少なくとも1つのストライプを画定するべく該パターンが形成されるように、前記アプリケーターロール表面に残存させることと、を含む方法。

【請求項2】

前記コーティング流体の前記パターンを、前記アプリケーターロール表面から移動ウェブのコーティング面に転写する工程をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

コーティング面とその反対側の後面とを有する移動ウェブ上に、ミクロスフィアを含有するコーティング流体を塗布する方法であって、

長手方向範囲を有する回転する供給ロール表面に、ミクロスフィアを含有するコーティング流体を塗布することと、

アプリケーターロール表面のトポグラフィーが、前記コーティング流体の前記ミクロスフィアを受け入れる形状を有する長手方向に延びる少なくとも1つの周方向らせん状溝部分と、長手方向に延びる少なくとも1つの周方向平滑表面部分とを含んでなる、長手方向範囲を有する回転する該アプリケーターロール表面に、前記コーティング流体を前記供給ロール表面から転写することと、

前記アプリケーターロール表面に直線状ドクターブレード縁を係合させて、前記アプリ

ケーターロール表面の前記平滑表面部分から前記コーティング流体を除去するとともに、前記アプリケーターロール表面の前記らせん状溝部分により、該ドクターブレード縁を通過して前進する前記ミクロスフィアの量を制限し、前記ミクロスフィアを含有する前記コーティング流体のパターンを、該パターンが前記らせん状溝部分によって画定され、かつ前記ミクロスフィアを含有する前記コーティング流体の少なくとも1つのストライプを画定するべく該パターンが形成されるように、前記アプリケーターロール表面に残存させることと、

前記ミクロスフィアを含有する前記コーティング流体の前記ストライプを、前記アプリケーターロール表面から移動ウェブのコーティング面に転写することと、
を含む方法。